

# 住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2063号 2011年04月18日(月)

## 《 solidarity with the Japanese people 》

ワシントンで先週末に開かれた一連の国際会議（G20、国際通貨金融委員会、世銀・IMF 合同開発委員会など）では、日本が大震災後に提示された国際社会の支援、支援表明に感謝の意（例えば国際通貨金融委員会での「日本国ステートメント」はこの URL にあります）

=  
[http://www.mof.go.jp/international\\_policy/imf/statement/imfc/imfc\\_230416st.htm](http://www.mof.go.jp/international_policy/imf/statement/imfc/imfc_230416st.htm) ) を表明したのに対して、G20 などいくつか出された声明で日本支持が改めて表明されました。

国際社会は日本の原発事故処理に不満と関心を持っているのですが、この手の会議では常に「連帯」がまず大事であって、今回は日本が3月に受けた地震・津波の被害があまりにも甚大であり、かつそれとの関連で起きた原発事故が依然として深刻であるが故に、様々な形で日本支援の文言が入ったと言える。どの声明でも「We extend our sympathy and support to the government and people of Japan as they grapple with the impact of the recent natural disasters」といった文章が入った。

日本に一番言及したのは「G20 Finance Ministers and Central bank Governors' Meeting, Washington DC, Communiqué(14-15 April 2011)」に見ることが出来る。冒頭の2パラグラフに日本 (Japan) への文言を見ることが出来る。

1. We, the G20 Finance Ministers and Central Bank Governors, met today to address the economic challenges at hand and to progress on our previous commitments. We reaffirmed that our overriding objective is to improve the living standards of all our citizens through strong economic and jobs growth. We expressed our solidarity with the Japanese people after the tragic events, our readiness to provide any needed cooperation, and our confidence in the resilience of the Japanese economy and financial sector.

2. The global recovery is broadening and becoming more self-sustained, with increasingly robust private demand growth. But downside risks still remain. We agreed to remain vigilant and to take the actions required to strengthen the recovery and reduce risks.

Events in some Middle-East-North African countries and in Japan have increased economic uncertainty and tensions in energy prices. We noted there is adequate spare capacity to meet global energy demand.

### 《 new round of interventions 》

この声明との関連で筆者が興味を持ったのは、15日午前の段階で開かれた日米財務相会談だ。この席は震災後初めて設けられたもので、この席でガイトナー財務長官は、震災後の急激な円高を防ぐために、先進7か国（G7）が3月18日に実施した為替の協調介入について、

「G7が結束して、世界経済のために価値あることが出来た。有効だった」

「急激な円高が続けば、景気回復がダメージを受けるリスクがあった」

「日本国民と日本経済の強さや回復力に私は自信をもっている」

などと述べたとされる。一連の声明や、野田財務大臣とガイトナー財務長官との話し合いの内容から推察すると、少なくとも日米は円相場が再び急騰に見舞われるような場合には、再度介入することを示唆しているとも読める。先週の後半からドル・円相場はやや円高に動いているが、これはこのドル・円相場への警告でもあるだろう。

もう一つ、これはこの週末の新聞各社の世論調査で明らかになったことだが、復興財源についてはいろいろな意見が出ている中で、国民の間には資金の調達手段として、復興税への支持が比較的高いことが明らかになっている。例えば日経新聞の記事は以下の通りだ。（ネットから収録）

「日本経済新聞社とテレビ東京が15～17日に共同で実施した世論調査で、東日本大震災の復旧・復興策の財源について、増税を容認する意見が69%に達した。子ども手当や高速道路の無料化などの民主党マニフェスト（政権公約）を巡っては、88%が「見直す必要がある」と回答した。菅内閣の支持率は27%と、2月末の前回調査から5ポイント上昇したが、なお低い水準にとどまっている。

東京電力福島第1原子力発電所の事故への内閣の対応は「評価しない」が70%だった。「評価する」は19%。大震災の復旧・復興や被災者への対応については「評価しない」が56%で「評価する」が34%だった。原発事故に関する政府の情報開示が「適切か」と聞くと「そう思わない」が71%で「そう思う」の20%を大きく上回った。

震災の復旧・復興策を賄う財源を「震災復興を目的とする増税が必要」「国債の増発が必要」「増税と国債増発の両方が必要」の中から1つ答えてもらったところ「増税」が38%、「国債増発」が13%、「増税と国債増発の両方」が31%になった。」

国債増発への支持は低い。これは今後の議論に影響を及ぼすことだろうし、「日本の国家債務の増大」を懸念しているマーケットにとっては、一つの材料だろう。

---

今週の主な予定は以下の通り。

4月18日（月）	米4月NAHB住宅市場指数
4月19日（火）	3月消費動向調査 米3月住宅着工件数／建設許可件数
4月20日（水）	2月第3次産業活動指数 米3月中古住宅販売件数 ブラジル金融政策委員会
4月21日（木）	米新規失業保険申請件数 米4月フィラデルフィア連銀製造業景気指数 米3月景気先行指数 米2月FHFA住宅価格指数 米3月半導体BBレシオ
4月22日（金）	休場／米、英、独、仏、豪、ブラジル、インド、 インドネシア、フィリピン、シンガポール、香港

### 《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。東京の桜はすっかり葉になってしまいましたが、少し郊外に出ると、まだ桜が満開のところもある。昨日行った山梨県もそうでした。

それにしても、金曜日に取材で歩いた銀座の街は、私にとって少なからずショックでした。金曜日の夜なのに、あんなに暗い銀座の中央通り、特に5丁目当たりから1丁目を見たのは、初めて。関西の人に、「今の東京」を分かってもらおうという「関西テレビの企画」で「今の東京」を改めて取材で動いたのです。

商店街、六本木ヒルズ、新宿のFOREVER21、そして夜になって銀座、そして東京タワーと。商店街は、大阪の天神橋筋商店街とやや似た趣がある（長さなど）ということで、戸越銀座を選んだ。中華料理屋さん（百番さん）、たばこ屋さん、床屋さん、魚屋さん、そして電気屋さん。私もそこまで詳しく取材する暇も今までなかったので、改めて見させて頂いて「皆さん努力されているな」という印象。軒並み店内の明かりを落とし、しかしみずぼらしくない努力をしている。夏のビールジョッキの冷やしを別にすれば、このまま行こうと思っているのです」といった言葉（百番の白井さん）も聞かれ、今回の電力不足を変化の切っ掛けにしようという動きも。

その中で、やはり夜の7時前の銀座の状況はショックでした。そりゃ電通通りも暗いですよ。しかし、銀座はなんと言っても中央通りが中心です。そこが暗いのは、「東日本の夜の街並みの景観が大きく変わってしまった」という印象がした。いつ戻すのか、いや戻さないの

か。どちらでもないとして、街全体として照明をどこに着地させるのか。東京電力も5200万キロワットまで発電能力が回復としているので、今後議論になるのでしょうか。

まあ、「どの程度の照明度が良いのか」に関しては、昔から議論があった。ロンドンなんて、いつも暗い。明るくなるのは、クリスマス・シーズンのハロウズなどなど一部のお店だけ。ああいうやり方もある。ただ復旧するだけでは意味がない。勇気づけられたのは、東京タワーの内側と外側から見た「GANBARO NIPPON」ですかね。いろいろな意味がある。ただ「頑張る」はよく言われるように良くないが、心持ちとしては今の日本はやはり「頑張ろう……」でなければ良くないと思う。

《当「ニュース」は住信基礎研究所首席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》